

2021年度 町田市スポーツ推進計画19-28アクションプラン進捗状況(主な実施事業)

基本目標1 スポーツへの参加機会の充実

(1) 子どものスポーツ推進

番号	取組項目			主な取組
	指標	目標値	実績値	
1-1-1	「まちとも」と連携した放課後のスポーツ推進			新型コロナウイルス感染症の影響により、各学校において「まちとも」と外部指導員との連携を中止していた期間があり、事業を実施することが困難な期間があった。緊急事態宣言解除後、徐々に「まちとも」や外部指導員との連携を再開することができた。新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、2022年度以降、新たに連携を予定していた地区等で事業の実施が出来るよう調整を重ねていく。
【再掲】 3-1-1	スポーツ推進委員・地域スポーツクラブと連携した地区数	5地区	4地区	
1-1-2	市内10地区のスポーツマップの作成・活用			相原地区、小山・小山ヶ丘地区のスポーツマップを作成し、ホームタウンチーム(FC町田ゼルビア)と連携を図り、区域内の小学校5校に配布したほか、南地区、高ヶ坂・成瀬地区についても新1年生を対象に区域内の小学校12校にスポーツマップを配布した。引き続き、関係各課や関係団体と連携し、2022年度は、新たに3地区(町田第一地区、町田第二地区、南大谷・玉川学園地区)のスポーツマップを作成する。
【再掲】 4-1-1	スポーツマップを作成した地区数	4地区	4地区	

(2) 働き盛り世代・子育て世代のスポーツ推進

番号	取組項目			主な取組
	指標	目標値	実績値	
1-2-2	子どもの健診時のスポーツ啓発			2020年度に作成したチラシの見直しを行い、市ホームページにて紹介している運動に関する動画情報の掲載について検討を行なった。 新型コロナウイルス感染症の影響により、健康診査に訪れる方へ配布が困難な状況となったため、健康福祉会館にチラシを設置した。
	啓発物の作成・配布	見直し実施	見直し実施	

(3) 高齢者のスポーツ推進

番号	取組項目			主な取組
	指標	目標値	実績値	
1-3-2	温浴施設を活用したスポーツ環境の充実			2020年度から引き続き、温浴施設整備のため、工事を実施した(2020年10月末～2021年12月まで)。工事終了後は、2022年4月からの供用開始に向け、備品や什器の設置等の稼働準備を行った。 室内プールと温浴施設の管理・運営を担う指定管理者の選定を行った。
	温浴施設を活用した事業の実施	検討	工事検討	

(4) 障がい者のスポーツ推進

番号	取組項目			主な取組
	指標	目標値	実績値	
1-4-1	スポーツ・レクリエーション教室等の開催			サン町田旭体育館の東京オリンピック・パラリンピック関連事業に伴う利用制限や子ども発達センターの設備整備、使用申請落選により、当初の教室開催回数が目標値を下回った。また、新型コロナウイルスの感染拡大により施設の貸出中止、その後もワクチン接種会場としての利用など、施設が利用できない状況が続いた。施設の貸出再開後も、障がいのある方を対象とした教室のため、感染者が発生した場合のリスクが大きいことから、感染対策の検討が必要となり再開までに時間を要したが、12月から体育館教室、1月からプール教室を順次再開することができた。 イベントでは、障がい者スポーツの実施が定着してきた。室内プールでは2021年度から新たに障がい者スポーツ教室を実施し、スポーツ環境の充実を図った。
	開催回数	①体育館 年36回 プール 年36回 ②年 55回	①体:年5回 プ:年6回 ②44回	
1-4-2	小学生を対象とした障がい者スポーツ体験教室開催			コロナ禍においても市内小学校9校794人の児童にパラアスリートによる体験教室を実施することができた。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響により当初実施予定の13校から実施校が減ったことや、感染症対策として1回当たりの体験人数をコロナ前より少なくしたことにより、目標人数には届かなかった。 2022年度も日本障がい者バドミントン連盟には選手派遣の協力、町田市バドミントン連盟には指導員派遣の協力をいただき、継続して実施する。
	年間参加者数	年1,000人	年 794人	

基本目標2 スポーツに関わる 人材と組織の充実

(1) スポーツを支える人材の育成

番号	取組項目			主な取組
	指標	目標値	実績値	
2-1-1	大学・企業連携によるスポーツを支える人材の派遣			新型コロナウイルス感染症の影響により、各団体において講師派遣、スポーツ教室の中止等、事業を実施することが困難な状況であった。 新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえて、2022年度以降、事業再開に向け、各団体と調整を行う。
	連携団体数	6団体 検討 調整	2団体 検討 調整	
2-1-2	まちだサポーターズの活動機会の充実			緊急事態宣言の影響により活動の場が少なかったため、目標達成には至らなかったが、自転車ロードレースを始めとした東京2020オリンピック・パラリンピックの活動など、新たな分野で活動の幅を広げることができた。 オリンピック・パラリンピック終了後もまちだサポーターズを継続していく上で、新たな活動の場の開拓やまちだサポーターズ自身で活動の場を生み出していくことが求められる。
	年間延べ活動参加者数	年3,300人	年 2,474人	

(2) スポーツを支える団体の支援・育成

番号	取組項目			主な取組
	指標	目標値	実績値	
2-2-3	まちだサポーターズの組織化			総務班が中心となって活動方針の検討作業を進めたことにより、活動方針となる定款及び細則を制定することができた。今後も毎年4月～6月に総会を開催する。 引き続き、まちだサポーターズと協働し、自主運営事業の支援や人材の育成など、まちだサポーターズの自立化を進めていく。
	まちだサポーターズの育成	オリンピック・パラリンピック後の体制づくり	オリンピック・パラリンピック後の体制づくり	

基本目標3 スポーツ環境の充実

(1) 「する」スポーツ環境の充実

番号	取組項目			主な取組
	指標	目標値	実績値	
3-1-4	公園のスポーツ利用の促進			2021年度以降の掲載対象公園については、制札板の修正を全て完了させた。 2地区(小山・小山ヶ丘地区、相原地区)におけるスポーツマップを作成し、配布をした。 全地区における掲載対象公園について、ホームページに公開した。
	利用方法の見直し	4地区	4地区	
3-1-6	大学・企業連携によるスポーツ施設の市民利用拡大			協定締結団体数は5団体となったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、各団体において敷地内への立ち入り制限があり、利用に向けた調整や事業を実施することが困難な状況であった。 2022年度以降は、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、事業実施に向け、各団体と調整を行う。
	連携団体数	6団体 検討 調整	2団体 検討 調整	

(2) 「みる」スポーツ環境の充実

番号	取組項目			今後の課題
	指標	目標値	実績値	
3-2-1	総合体育館、陸上競技場におけるスポーツ観戦環境整備			総合体育館大型映像装置については、ペスカドーラのホームゲームや大規模大会以外に、市民大会や市内イベント等での活用をPRし、スポーツ以外の用途も含めた様々な形で活用されるように周知していく必要がある。 観客席増設に伴い、町田GIONスタジアムがJ1基準のスタジアムとなり、観るスポーツの観戦環境の充実を図ることができた。新型コロナウイルスによる規制が緩和された後に、15,000人規模の動員ができるような新たな大規模イベントの開催を検討する必要がある。また、イベントを検討するにあたり、スポーツイベント以外も検討する。
	※2020年度までに、目標指標(整備完了)を達成している。	-	-	

基本目標4 スポーツを通じたまちづくり

(1) スポーツ情報の発信

番号	取組項目			主な取組
	指標	目標値	実績値	
4-1-2	スポーツ以外の既存情報発信ツールとの連携			新型コロナウイルスの影響により、対面式でのスポーツ教室の実施が難しい状況であったため、自宅でできる動画やチラシを作成し、新しい生活様式に合わせたスポーツ情報の発信を行なった。 2022年度は、他部署や他の団体等とのさらなる連携を図り、新たな生活様式にも対応したスポーツに関する情報を様々な媒体で発信していく。
	-	実施	実施	

(2) スポーツを通じたシティプロモーション

番号	取組項目			主な取組
	指標	目標値	実績値	
4-2-1	ホームタウンチームと連携したPR活動			Jリーグ、Fリーグの開幕に合わせて町田駅ペDESTリアンデッキの横断幕、タペストリーを設置し、それぞれのチームカラーに装飾を行い、市庁舎内では応援ウィークを実施した。 ホームタウンチームを周知・PRできる場所が限られているため、2022年度以降はより広く市民へ周知できるように、新たな広報の場の獲得を検討していく。
	-	実施	実施	